



立ちの日に 旅サプライズ

美大生が黒板ジャックで卒業祝福！

▲絵に込めた想いを語る制作者の学生

市立中学校の卒業式が3月13日に行われました。小絹中学校と谷和原中学校では、武蔵野美術大学の学生7人が、前夜に3年生の教室の黒板にチョークで絵を描き、翌朝登校してきた生徒を驚かせる「黒板ジャック」が行われました。

これは、つくばみらいライオンズクラブが、「新たな門出に立つ卒業生の皆さんに芸術を通して感動の1ページをプレゼントしたい」という想いから、同大学のプロジェクトに応募し実現したもので、今年で3年目となります。同クラブの中山栄一なかもえいいち会長は「楽しかった中学校生活を思い出すきっかけになれば。夢に向かって羽ばたいて」と卒業生にエールを送りました。



▲つくばみらいライオンズクラブの皆さん（2列目・3列目）と「黒板ジャック」制作者の学生の皆さん（前列）

▼小絹中の3年生・3クラスに描かれた作品。



動画公開決定！

市ではシティプロモーションの一環として、このつくばみらいライオンズクラブの取り組みを映像化し、後日公開する予定です。お楽しみに！

問 伊奈庁舎秘書広報課 ☎ 58 - 2111



▲谷和原中の3年生・4クラスに描かれた作品。